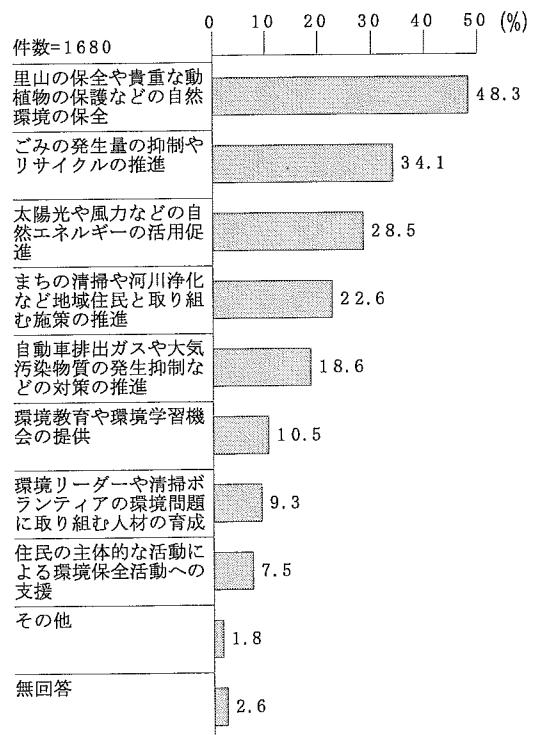


8 今後のまちづくりについて

8-1 万博理念継承として優先すべき環境施策

問23 2005年に開催された愛・地球博は「自然の叡智」や「地球大交流」をテーマに開催され、大成功をおさめました。長久手町では万博のこの理念を継承し、施策に反映、発展させていきたいと考えています。「自然の叡智」を継承する町の環境施策として、優先すべき課題は何だとお考えですか。（2つまで）

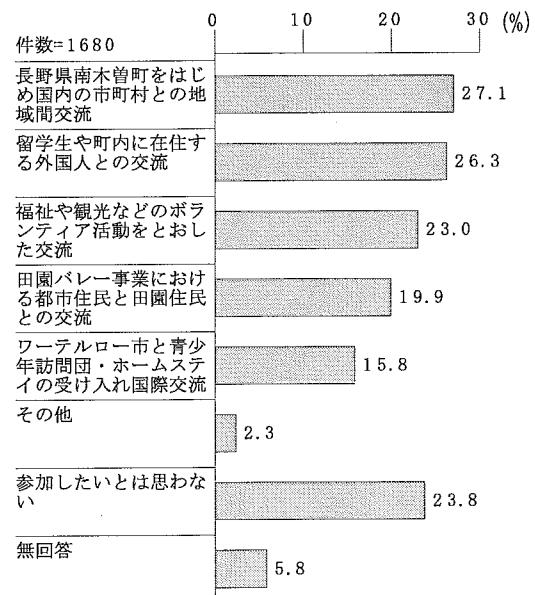
- 「里山の保全や貴重な動植物の保護などの自然環境の保全」が最も多く、次いで「ごみの発生量の抑制やリサイクルの推進」「太陽光や風力などの自然エネルギーの活用促進」「まちの清掃や河川浄化など地域住民と一体となって取り組む施策の推進」と続いており、良好な自然環境・生活環境の保全や循環型社会に対する取り組みが求められていると考える。



8－2 今後参加したい交流活動

問24 長久手町では、愛・地球博の開催中に、万博サテライト会場「ながくて広場」での地域間交流、一市町村一国フレンドシップ事業でのベルギー王国との交流、長久手町おもてなしボランティア活動などの事業をとおして、様々な交流がくりひろげられました。また、昨年友好宣言を取り交わした長野県南木曽町との地域間交流を中心に、現在も様々な交流がくりひろげられていますが、あなたは今後どのような交流に参加したいと思いますか。
(2つまで)

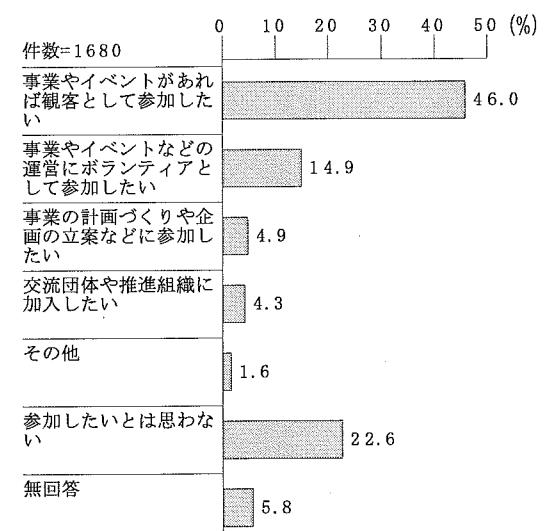
- 「長野県南木曽町をはじめ国内の市町村との地域間交流」「留学生や町内に在住する外国人との交流」が多く挙げられており、国内の地域との交流や身近な交流への参加意向が高い。一方、「参加したいとは思わない」も多い。



8－3 交流活動の参加方法

問25 問24でお聞きしたような交流活動を進めるにあたってあなたはどのように参加したいと思いますか。(1つだけ)

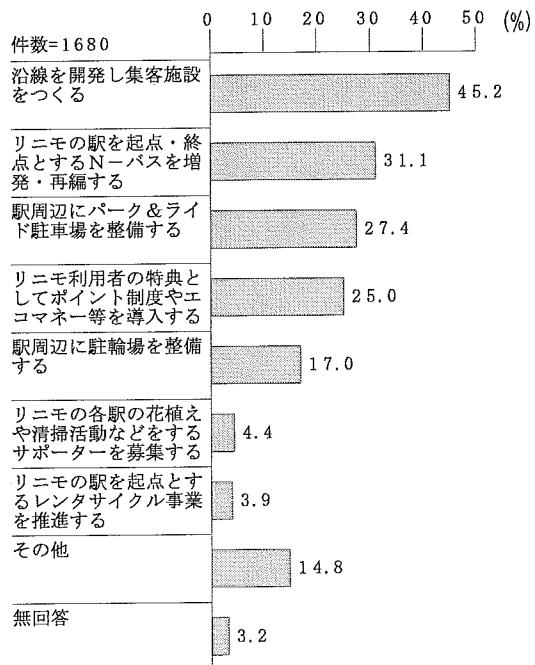
- 「事業やイベントがあれば観客として参加したい」が約5割と最も多く、続く「事業やイベントなどの運営にボランティアとして参加したい」は2割未満となっている。一方、「参加したいとは思わない」も多い。



8-4 リニモの利用促進

問26 リニモは愛・地球博の開催に合わせて平成17年3月に開業しました。万博開催時は多くの人に利用されました。閉幕後は当初の利用者数の予想を下回っています。今後も町民の貴重な交通手段として利用促進を図るために、町が取り組むべき効果的な施策は何だとお考えですか。(2つまで)

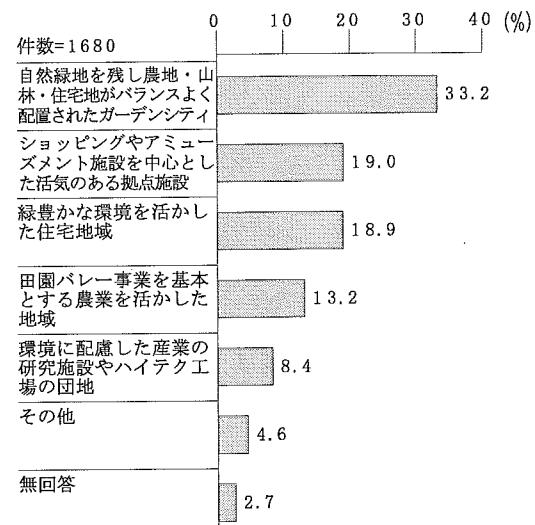
- 「沿線を開発し、集客施設をつくる」が最も多く、次いで「リニモの駅を起点・終点とするN-バスを増発・再編する」「駅周辺にパーク＆ライド駐車場を整備する」「リニモ利用者の特典として、ポイント制度やエコマネー等を導入する」と続いている。



8-5 リニモ沿線東部地域の土地利用

問27 リニモ沿線のうち、町内の東部地域（長久手古戦場駅以東）では農地や山林が多く、沿線の土地に対する需要を考慮し、今後の土地利用について検討する必要があります。芸大通駅から愛・地球博記念公園駅の間は、将来どのような地域として整備を進めればよいとお考えですか。(1つだけ)

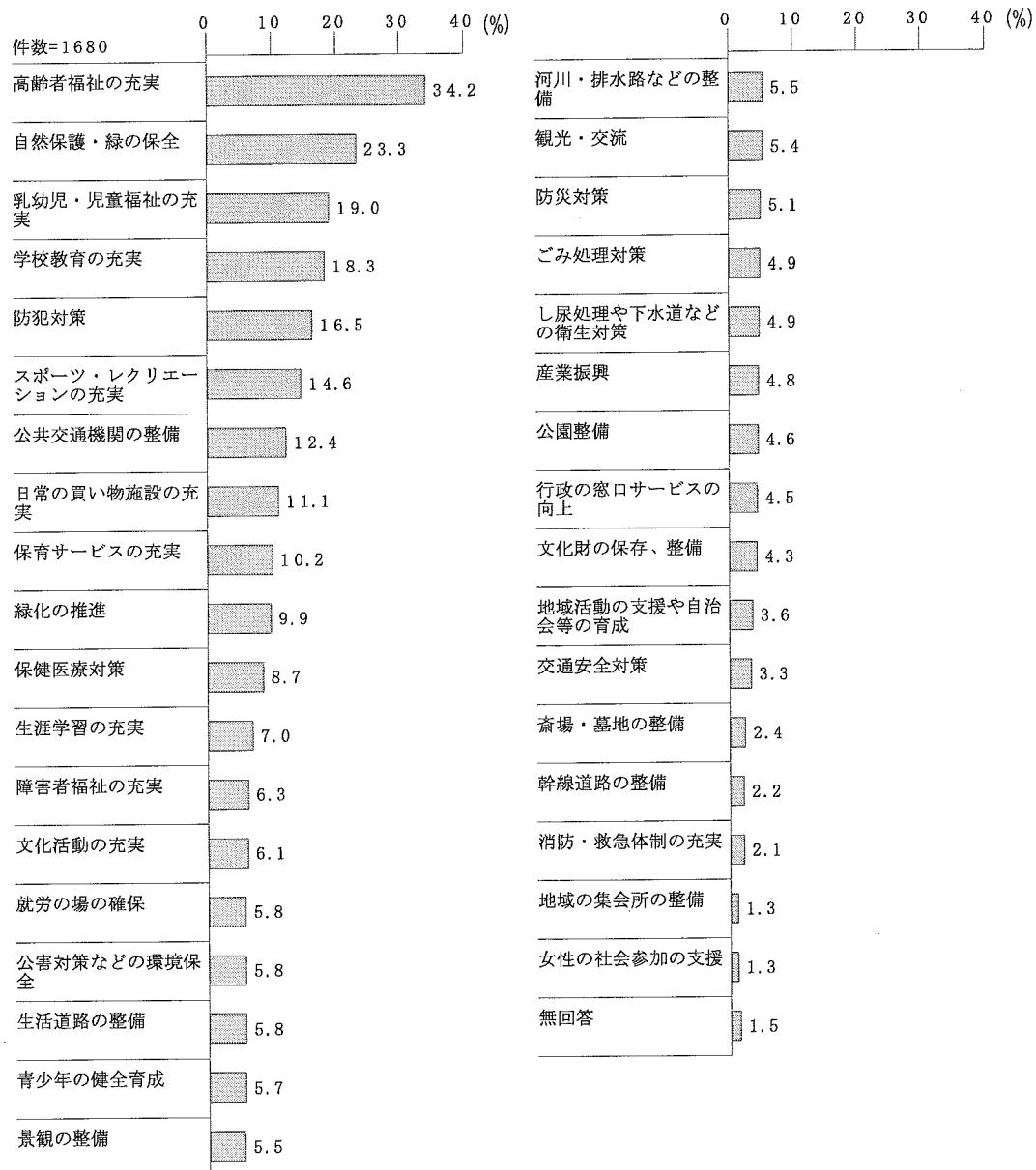
- リニモ沿線東部地域の土地利用は、「自然緑地を残し、農地、山林、住宅地がバランスよく配置されたガーデンシティ」が最も多く、「ショッピングやアミューズメント施設を中心とした活気のある拠点施設」「緑豊かな環境を活かした住宅地域」がそれぞれ2割弱で続いている。



8-6 今後の重点施策

問28 あなたは、今後長久手町がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
(3つまで)

- 上位5項目は、「高齢者福祉の充実」「自然保护・緑の保全」「乳幼児・児童福祉の充実」「学校教育の充実」「防犯対策」となっており、少子・高齢化、環境保護、教育改革、犯罪の多発など、わが国が抱える社会問題への対策が自治体にも求められている。



- 年代別で見ると、「高齢者福祉の充実」は、50歳代以上の年代で1位となり、「乳幼児・児童福祉の充実」は30歳代、「学校教育の充実」は40歳代でそれぞれ1位となっている。また、20歳未満（18～19歳）では、「自然保護・緑の保全」「緑化の推進」といった環境に関することが上位となっている。

	全体	20歳未満 （18～ 19歳）	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
件 数=上段(件) 下段(%) 選択肢=(%)								
件 数	1680 100.0	26 100.0	184 100.0	381 100.0	302 100.0	324 100.0	295 100.0	161 100.0
高齢者福祉の充実	① 34.2 ② 23.3 ③ 19.0 ④ 18.3 ⑤ 16.5	① 11.5 ② 53.8 ③ 29.3 ④ 7.7 ⑤ 3.8	② 20.7 ① 29.3 ① 40.7 ② 34.6 ③ 19.7	② 17.8 ③ 19.7 ① 40.7 ② 22.2 ③ 16.9	② 24.8 ① 26.2 ① 26.2 ③ 17.0 ④ 20.9	① 43.8 ② 25.0 ③ 11.2 ④ 13.6 ⑤ 13.3	① 54.6 ② 22.0 ③ 11.2 ④ 15.3 ⑤ 11.8	① 53.4 ② 19.9 ③ 9.3 ④ 9.3 ⑤ 5.6
自然保護・緑の保全								
乳幼児・児童福祉の充実								
学校教育の充実								
防犯対策								
スポーツ・レクリエーションの充実								
公共交通機関の整備								
日常の買い物施設の充実								
保育サービスの充実								
緑化の推進								
保健医療対策								
生涯学習の充実								
障害者福祉の充実								
文化活動の充実								
就労の場の確保								
公害対策などの環境保全								
生活道路の整備								
青少年の健全育成								
景観の整備								
河川・排水路などの整備								
観光・交流								
防災対策								
ごみ処理対策	4.9 ③ 23.1	- 7.6	1.1 3.9	3.4 3.9	4.0 5.0	7.1 5.0	8.8 4.9	9.9 6.8
し尿処理や下水道などの衛生対策	4.9 - 7.7	- 3.3	3.3 2.4	2.4 2.6	2.6 3.3	4.6 6.2	9.2 7.1	9.3 2.5
産業振興	4.8 -	- 6.5	- 3.7	6.5 4.3	3.7 5.2	6.8 4.4	4.4 4.4	6.2 5.0
公園整備	4.6 -	3.8 -	7.1 2.1	6.0 3.0	7.9 3.7	3.1 6.1	1.7 7.5	0.6 7.5
行政の窓口サービスの向上	4.5 -	3.8 -	4.9 1.6	2.6 4.7	3.3 5.0	6.2 1.9	7.1 2.7	2.5 3.7
文化財の保存、整備	4.3 -	7.7 -	4.3 1.6	2.6 0.5	5.3 1.7	4.6 3.4	4.7 5.8	5.0 1.9
地域活動の支援や自治会等の育成	3.6 -	- -	- 2.1	2.1 3.0	3.0 3.7	3.7 6.1	6.1 7.5	7.5 7.5
交通安全対策	3.3 -	- 1.6	- 4.7	1.6 5.0	1.6 5.0	1.9 4.7	2.7 4.7	3.7 3.1
斎場・墓地の整備	2.4 -	- 1.6	- 0.5	0.5 1.7	0.5 1.7	3.4 2.5	5.8 4.7	1.9 3.1
幹線道路の整備	2.2 -	3.8 -	1.6 1.3	0.5 3.0	1.0 2.5	2.5 4.7	4.7 3.1	4.3 4.3
消防・救急体制の充実	2.1 -	- 2.2	- 1.3	0.5 3.0	0.5 2.5	1.0 1.0	1.0 1.0	4.3 5.0
地域の集会所の整備	1.3 -	- 0.5	0.5 1.0	0.5 1.0	1.0 1.7	1.2 0.9	1.0 2.4	5.0 -
女性の社会参加の支援	1.3 -	- 1.1	1.0 1.1	1.0 1.7	1.0 0.9	1.0 2.4	1.0 -	5.0 -

は、上位5項目の回答
※丸付き数字は順位を示す。

- 前回調査と比較すると、「乳幼児・児童福祉の充実」「スポーツ・レクリエーションの充実」「日常の買い物施設の充実」が5ポイント以上増加し、逆に「生活道路の整備」「し尿処理や下水道などの衛生対策」が5ポイント以上減少している。

「乳幼児・児童福祉の充実」は、わが国全体でのニーズも高いことから、今後特に力を入れて取り組むべき項目であると考えられる。「スポーツ・レクリエーション施設の充実」は、住民の余暇活動が成熟期を迎えたことにより、新たな余暇の過ごし方を模索することから増加したと考えられる。「日常の買い物施設の充実」は、新たな商業施設に対する要望と考えられ、中央地区における商業施設が期待される。「生活道路の整備」「し尿処理や下水道などの衛生対策」は、これまでの生活環境向上のための各施策や、主要幹線道路など都市基盤が整備されたこと、下水道事業が推進されたことから、成果が評価された項目であると考えられる。

